

NIGHTSCAN
LP-1JN

ご使用になる前に必ずお読み下さい。

No.K165 88.7.



1. 機能・特長・各部の名称

安全・防犯・省エネに威力を発揮する照明コントロールセンサー。
次のような機能の組合せで照明の点灯を自動的にコントロールします。

1. 体温検知センサー

人体からの遠赤外線放射をキャッチします。エリア内に人間が侵入すると、センサーの受ける遠赤外線(熱放射)の量が変化し、センサーはその変化に応じて電気信号を送ります。

2. 照度検知センサー

周囲の明るさを検知し、自動的に昼・夜を判別して昼間、体温検知センサーの働きを休止させます。

3. フラッシング機能

切換えスイッチの操作により、約0.5秒間隔で照明を点滅させることができます。

〔オート点灯モードで、夜間体温検知センサーが人体を検知した時のみ、ディレイタイマー設定時間内点滅を続けます。〕

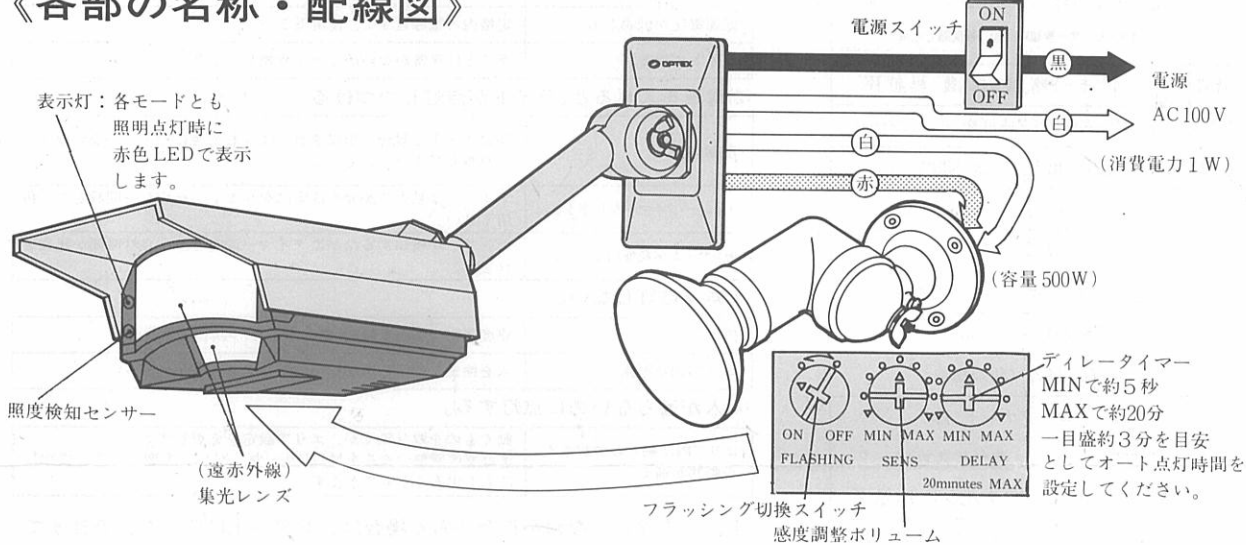
《モード選択》

フラッシング切換えスイッチの操作で、2つのモードを選択することができます。

モード	フラッシング切換えスイッチの操作	照明の点灯
①オート点灯モード	▲印をこの範囲にする。 ON OFF	夜間のみ エリア内に人間が侵入したとき、ディレイタイマーの設定時間だけ点灯します。
②オート点灯 + フラッシングモード	▲印をこの範囲にする。 ON OFF FLASHING	夜間のみ エリア内に人間が侵入したとき、ディレイタイマーの設定時間だけ約0.5秒間隔でフラッシング点灯します。

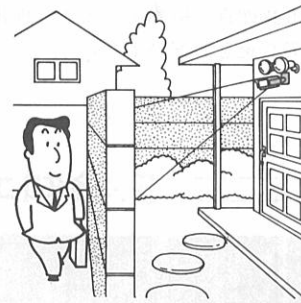
参考：照度検知センサーの前を、ブラインド・シールのように光を十分ささぎるものでふさぐと、昼間でもオート点灯可能です。
昼間の動作テスト、昼間でも人が通る時だけは点灯したい、などという時にご利用下さい。

《各部の名称・配線図》

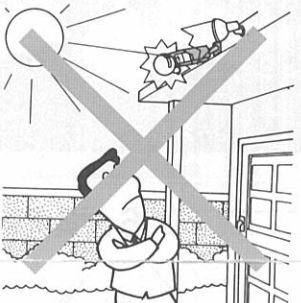


2. ご注意ください

- 体温検知センサーは、ガラス、壁、カーテン等を通して向う側を検知することはできません。
- エリア内に大理石の床、水たまり等、反射の強い物があると、エリア外のものを検知する場合があります。



- センサーの集光レンズに太陽光が直接入射しないように設置して下さい。



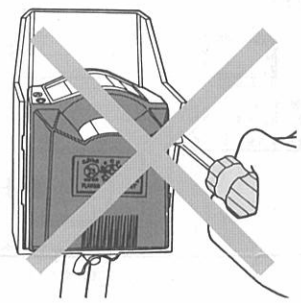
- センサーに真近からライトをあてると、内部温度が異常に上昇し、機器の損傷の恐れもありますので、ご注意ください。



- 蛍光灯をセンサーに接続する時は、フラッシングモードをOFFにしてご使用下さい。

- 防犯用・威嚇用として最適なフラッシングモードには、別売ハイビームランプのご利用をお奨めします。

- 分解は事故のもと、蝶ネジ以外のネジをゆるめないで下さい。



- 万一、高電圧がかかる、配線ミスがあった等により、過電流が流れた場合、保護回路が働き復帰できなくなります。その時には修理をご依頼下さい。

3. 保証書

安全照明コントロールセンサー・ナイトスキャン

保証書

NIGHTSCAN
LP-1JN

保証期間 ※お買い上げ年月日 より 1年間	販売店名 ※
お客様 (〒) ご住所 (TEL) お名前	〈お願い〉 ○※印の欄はお買い上げ時に必ず記入を受けて下さい。記入無き場合、本書は無効となります。 ○本書は大切に保存して下さい。再発行はいたしません。



オプテックス株式会社

〒520 滋賀県大津市におの浜4-7-5 TEL(0775)24-1900(代表)
FAX(0775)24-3201 TELEX 5464852 OPTEX J

4. 設置の手順

〔取付けと配線〕

- この取り扱い説明書を参照の上、設置場所を決めて下さい。
- 取付け高さは地面、床より1.8m～3m程度が適当です。
- 配線図に従って正しく配線して下さい。
- エリア図を参照し、エリアを設定します。

〔動作確認とエリア調整〕

- センサーに通電して下さい。
- 40秒程度のウォームアップ時間を置いた後、エリアを横切る方向に歩いて動作を確認して下さい。
- エリア調整の必要があれば、再び蝶ネジ部の操作によって適切なエリアに設定し直して下さい。

〔設置完了〕

- 動作確認テストの後、ブラインドシールをはがして、センサーが昼間休止できるようにします。
- ディレータイマーを適切な時間にセットします。
タイマーは MIN. で約5秒
MAX. で約20分
一目盛を約3分の目安としてセットして下さい。

取付け

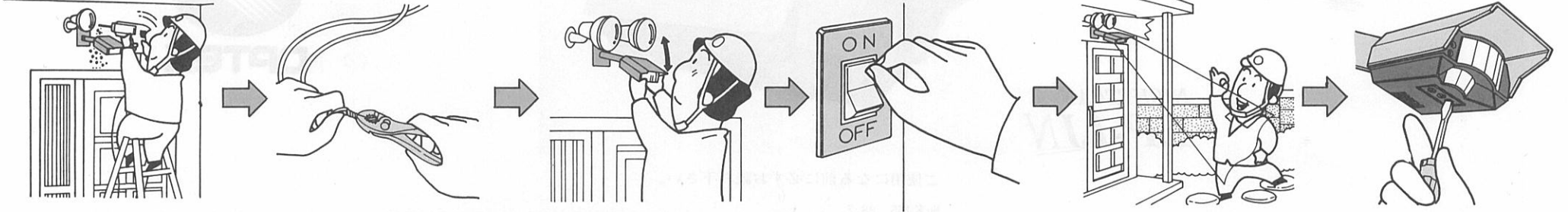
配線

エリア設定

通電

動作確認

タイマー設定



※『5.検知エリア可変角度』に示すように、センサーの2つの蝶ネジ部の操作で、センサーを各方向へ自由に向けることができます。

※体温検知センサーは、エリアを横切る方向に人が動く時に最も感度良く検知できます。使用場所に応じて検知しやすいエリア設定をお選び下さい。

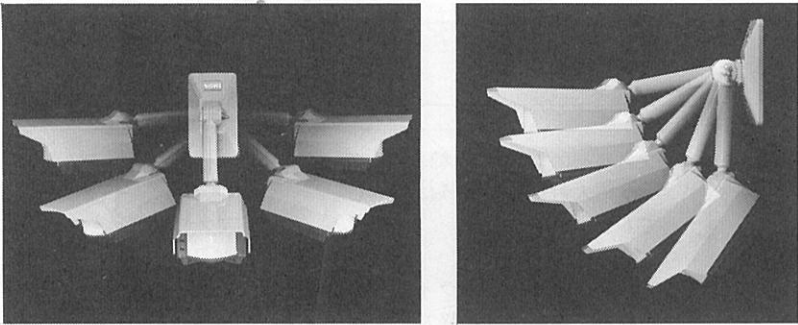
※照度検知センサーの前のブラインドシールをはずすと、センサーは昼間動作しなくなります。昼間動作確認テストをされる時は貼ったままにして、テスト終了後にはがすようにして下さい。

※ディレータイマーを最小にしてテストすると、動作確認し易くなります。

※通電後、センサーが動きはじめるまで、40秒前後のウォームアップ時間が必要です。

※センサー感度ボリュームは工場出荷時、通常使用で最適になるように調整していますが、使用環境によって微調が必要な場合もあります。時々人を検知しにくいことがある場合にはMAX側へ、不要な物を検知してしまうような時にはMIN側へ少しずつ回して調整して下さい。

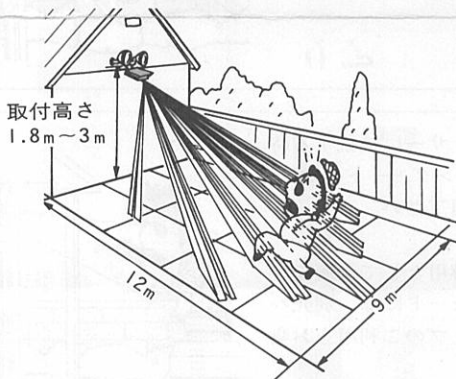
5. 検知エリア可変角度



8. 設置例



6. 検知エリア



9. 仕様

名称	安全照明コントロールセンサー ナイトスキャン NIGHTSCAN
型式	LP-1JN
検知方式	体温検知方式
検知エリア	12m×9m (別図参照)
検知エリア方向	左右方向——180°
可変範囲	上下方向——180°
モード選択	①オート点灯モード (夜間・センサー検知時点灯) ②オート点灯+フラッシングモード (夜間・センサー検知時 約0.5秒間隔で点滅)
ウォームアップ時間	オート点灯モード時、電源投入後 約40秒
出力保持時間	約5秒～約20分連続可変(ディレータイマー)
出力接点	有電圧出力 容量 500W
電源電圧	AC 100V±15V 50/60Hz
消費電力	最大 1W
表示灯	リレー出力時 赤色LED点灯
使用温度範囲	-20℃～+50℃
設置場所	屋内・屋外(防雨構造)
構成	本体 1, ロックナット 1, 取付プレート 1, 取付ビスカバー 2, 取付ビス:M4×35 2, タッピング 4×25 2,

※本商品の仕様はお断りなしに変更する場合がありますので、ご了承ください。

10. 異常時の点検・処置

(1)電源を入れても、ライトが点灯しない。

A) LEDが点灯しない。	
電源スイッチ(手元スイッチ)がOFFになっている。	電源スイッチをONにして、もう一度確認して下さい。
照度検知センサーが働いている。	動作確認テスト時など昼間にセンサーを働かせたい時は、ブラインド・シールを照度検知センサーの前に貼って下さい。昼間ライトを点灯させたくない時はシールをはがして下さい。
電源配線の誤り。	この取り扱い説明書どおり正しく配線して下さい。
電源電圧が高過ぎる。	保護回路が働いた可能性がありますので、修理を依頼して下さい。配線時のショート。

B) LEDは点灯する。

センサー・ライト間の配線の誤り	この取り扱い説明書どおり正しく配線して下さい。
電源電圧が低過ぎる。	定格内の電源電圧でご使用下さい。
ライトの故障。	ライトに異常がないかどうか点検して下さい。

(2)電源を入れると、ライトが点灯しつづける。

配線の誤り	特にライトと電源が直結されるような配線になっていないかどうか点検して下さい。
ディレータイマーが長過ぎる。	タイマーは最大で20分の設定になります。適切な時間設定でご利用下さい。
センサーが連続検知している。	センサーが検知するたびにタイマー設定どおり点灯時間が延長されます。

(3)時々点灯しない。

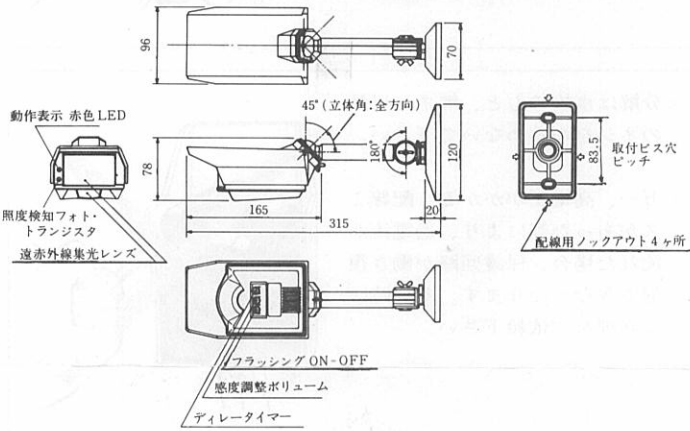
感度不足。	感度調整つまみをMAX側へ少しずつ回して下さい。
エリア調整不適。	人を検知しやすい適切な検知エリアを設定して下さい。

(4)人が通らないのに点灯する。

エリア内に動くものがある。小動物が通る。	動くものを取り除くか、エリア設定を変更して下さい。また感度調整つまみをMIN側へ少し回し、不要なものを検知しにくくすることもできます。
----------------------	---

上記の点検後、なお不都合のある場合は、お買い上げ店または弊社までご相談ください。(本機の補修用性能部品の最低保有期間は7年です。)

7. 外形寸法図



修理の記録

年月日	故障状況	補修内容	検印

※この保証書は右記に示した条件のもとでの無償修理をお約束するもので、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理・補修用部品の保有期間などは取り扱い説明書をご参照の上、ご不明な点はお買い上げ店もしくは弊社へお問い合わせください。

〈保証規定〉

I. 保証の範囲

- 取り扱い説明書に記載された正常な使用状態で、保証期間中に万一故障を起こした場合、無償にて修理いたします。お買い上げ店もしくは弊社へ本書を添えてお申し付けください。
- この保証は前面に記載された製品について、日本国内に限り適用いたします。

II. 保証の条件

- 次に該当する故障は、保証期間(お買い上げ日より1年間)であっても実費にて修理を申し受けることがあります。
- 誤った取り扱い、不当な修理・改造を受けた製品の故障。また故意・不注意による損傷に起因する故障。
 - 災害など不可抗力による損傷。
 - 本書前面に必要事項の記入が無い場合。また本書の提示がない場合。